

聴くまえに....

- ① テーマの紹介と確認：これからすることを児童のやる気が増すように楽しく説明する。



これから「エネルギー」のビデオを見ます。「エネルギー」ってわかりますか。

- ② キーワードの確認：必要があったら、視覚補助教材を示して、キーワードを確認する。



これは「エネルギー」の絵です。この絵を見てください。

- ・例えば、次のような応答をする。「テレビはどんなエネルギーで動きますか。」「電気で動きますね。」…/「ガソリンは何から作りますか。ガソリンのエネルギー源は何ですか。」「そうですね。石油ですね。」…

- ③ 興味・関心：テーマについて知っていることを確認し、興味・関心を高める。



エネルギーについて勉強したことがありますか。面白かったですか。

- ・話が広がらないように注意する。

聴きましょう....

- ① 聴解用DVDを聴かせる



では、これからビデオを見ましょう。先生がエネルギーの話をしています。昔はどんなエネルギーをたくさん使っていましたか。今はどうですか。先生の話をよく聴いてくださいね。後で、質問しますよ。

- ・聴解用DVD視聴中に分からない言葉があったら、後で質問するように指示する。



わからない言葉があったら、後で聴いてくださいね。では、始めます。

- ・DVDが終わったら、声かけをする。



ビデオはこれで終わりです。よく聴けましたね。

聴いたあとで....

- ① 話の大筋再生：DVDを聴いて、子どもが話の内容を再生する。



さあ、先生はどんなお話をしましたか。話してください。

- ・ 下の話の大筋再生チェックリストを参考に、どのぐらい理解できているかチェックする。リストの通りでなくともよい。

話の大筋再生チェックリスト

- 1. 今から40年以上前(1975年)は、日本では、石油が一番多く使われていた (62.1%)。 [過去のエネルギー源]
- 2. 今から10年ぐらい前(2006年)に、原子力が一番多く使われるようになった (30.5%)。 [現在のエネルギー源]
- 3. 東日本大震災で、原子力発電所の事故があった。それで、原子力は使えなくなってしまうかもしれない。 [転機]
- 4. アイスランドでは、(2006年に)地熱・太陽・風力が多く使われている (60.7%)。 [外国の状況]

- ・ リストの中の内容で、触れられなかったものは、次のように質問し、子どもの答えを引き出す。

質問例

- 1. 40年以上前は、何が一番多く使われていましたか。いつ石油が一番多く使われていましたか。
- 2. 今から10年ぐらい前は、何が一番多く使われていましたか。
- 3. どうして原子力は使えなくなってしまうかもしれないのですか。
- 4. アイスランドではどんなエネルギー源が多く使われていますか。
- 5. どうして日本のエネルギーは石油から原子力に変わってきましたか。
解答例: オイルショックの後、石油が日本に来なくなったら大変なことになるということになったからです。
- 6. 先生はみんなにどんなことを考えるように言いましたか。
解答例: 日本の将来のエネルギーがどうなるかについて考えるように言いました。

② 感想・意見：聞いた内容について感想や意見が言えるか。

😊 このビデオは、面白かったですか。どんなところが面白かったですか。

- ・ 何が面白かったか、どうして面白かったのか、聴いてみる。面白くなかった場合も同様に聴く。

😊 ビデオを見て、日本の将来のエネルギー源はどうなると思いますか。意見を教えてください。

- ・ 自分の体験と結び付けてどう感じた/思ったか話させる。

③ 聴解用DVDの言葉：ビデオの中の言葉が理解できたか。

😊 ビデオの中にわからない言葉がありましたか。どんな言葉がわかりませんでしたか。

④ 母語の状況：母語力の高い児童には次のような質問をして母語での聴く力をさぐる。

😊 ・ ○さんは、(国の名前)で学校に行っていましたか。
・ 日本へ来る前、(国の名前)では何年生でしたか。
・ (国の名前)の学校で、エネルギーの勉強をしたことがありますか。

😊 ビデオの話がよく聴けましたね。では、これで終わります。